

2001年12月期中間決算説明会

2001年 8月 24日



コカ・コーラウエストジャパン株式会社

連絡先 広報室

TEL 092-641-8591 FAX 092-632-4304

URL <http://www.ccwj.co.jp/> E-mail mtakase@ccwj.co.jp

Contents

1.中間期総括	2 頁	資料集	
2.通期展望		1.損益の推移	
(1)マーケティング活動の強化	3 頁	(1)連結 (中間期)	22頁
(2)業績予想を上方修正	〃	(2)連結 (通期)	23頁
3.中間決算概要		2.販売数量の推移	
(1)連結中間期実績	4 頁	(1)ブランド別販売数量	24頁
(2)単体中間期実績	〃	(2)パッケージ別販売数量	25頁
(3)参考値 3社連結	5 頁	(3)チャネル別販売数量	26頁
4.上半期の主要活動		(4)新製・商品の販売状況	27頁
(1)経営基本方針	6 頁	3.自動販売機の設置状況	28頁
(2)アンカーボトラーへの変身	7 頁	4.マーケットの状況 (マーケットシェア)	
(3)競争優位性の確立	8 頁	(1)メーカー別シェア	29頁
(4)経営インフラの整備	14頁	(2)カテゴリー別シェア	30頁
5.通期予想		5.株主の状況	
(1)連結通期予想	15頁	(1)株主数・株式数	31頁
(2)単体通期予想	〃	(2)配当金・配当性向	32頁
(3)参考値 3社連結	16頁	(3)株式分割	〃
(4)通期 計画との増減要因 (連結)	17頁	6.設備投資、減価償却、キャッシュフロー	
(5)下半期の活動	18頁	(1)設備投資、減価償却(連結)	33頁
		(2)キャッシュフロー(連結)	〃

1. 中間期総括



(1) アンカーポトラーとしてのアドバンテージ推進

・テリトリーの拡大・・・三笠社の子会社化

(2) トータルセールスは上向き、マーケットシェアも回復へ

・新商品 (まる茶、ナチュア他)、炭酸280ml缶のセールス貢献

・コカ・コーラのセールス好調

- コカ・コーラ 新キャンペーン「No Reason Coca - Cola」

- コカ・コーラ (前年対比 + 4.2%)

 ダイエットコカ・コーラ (前年対比 + 49.1%)



(3) 経営インフラの整備

・コカ・コーラビジネスの標準システムとしてのSAP稼動開始

(4) 業績

・売上高、営業利益はほぼ計画どおり

・中間純利益は退職給付信託設定益の増等により黒字へ転換

2. 通期展望



(1) マーケティング活動の強化

商品戦略

- ・基幹ブランド、育成商品の継続強化
- ・ホット商材の積極導入

チャネル戦略

- ・スーパー部門の大型PET商品拡販強化
- ・コンビニエンスへのマーケティング継続強化（消費者プロモ実施）
- ・自動販売機の継続強化

(2) 業績予想を上方修正

三笠社等の連結への組入れおよび退職給付信託設定益の増

三笠社分 (売上高 183億円、営業利益 7億円、経常利益 7億円)

		計画対比 (%)	前年対比 (%)
売上高	229,000 (百万円)	+ 7.0	+ 10.2
営業利益	18,500	+ 2.8	+ 6.0
経常利益	19,000	+ 2.7	+ 2.6
当期純利益	4,600	+ 43.8	19.3

3. 中間決算概要



(1) 連結中間期実績

(単位 百万円、%)

	2000年 中間期 (参考値)	2001年中間期					
		計 画	実 績	計画対比		前年対比	
				増減	増減率	増減	増減率
売 上 高	98,857	100,500	99,047	1,453	1.4	190	0.2
営業利益	7,377	7,000	7,475	475	6.8	98	1.3
経常利益	7,948	7,500	7,413	87	1.2	535	6.7
中間純利益	4,051	500	96	596	-	3,955	97.6

参考値…公認会計士による会計監査を受けていない数値

(2) 単体中間期実績

(単位 百万円、%)

	2000年 中間期	2001年中間期					
		計 画	実 績	計画対比		前年対比	
				増減	増減率	増減	増減率
売 上 高	70,076	71,500	71,307	193	0.3	1,231	1.8
営業利益	6,256	6,500	6,412	88	1.4	156	2.5
経常利益	6,864	6,900	6,836	64	0.9	28	0.4
中間純利益	3,633	500	250	750	-	3,383	93.1

< 販売実績 >

(単位 千ケース、%)

含む他ボトラー	41,232	42,777	43,742	965	2.3	2,510	6.1
エリア内	39,744	40,084	40,532	448	1.1	788	2.0

CCWJ

(3) 参考値 3社連結

…CCWJ単体 + 山陽CCSC + 北九州CCSC

(単位 百万円、%)

	2000年中間期		2001年中間期			
	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率
売上高	85,940	100.0	88,962	100.0	3,022	3.5
売上原価	44,858	52.2	47,251	53.1	2,393	5.3
売上総利益	41,081	47.8	41,710	46.9	629	1.5
販売費及び一般管理費	34,781	40.5	35,196	39.6	415	1.2
営業利益	6,299	7.3	6,513	7.3	214	3.4
営業外収支	608	0.7	435	0.5	173	28.5
経常利益	6,908	8.0	6,949	7.8	41	0.6

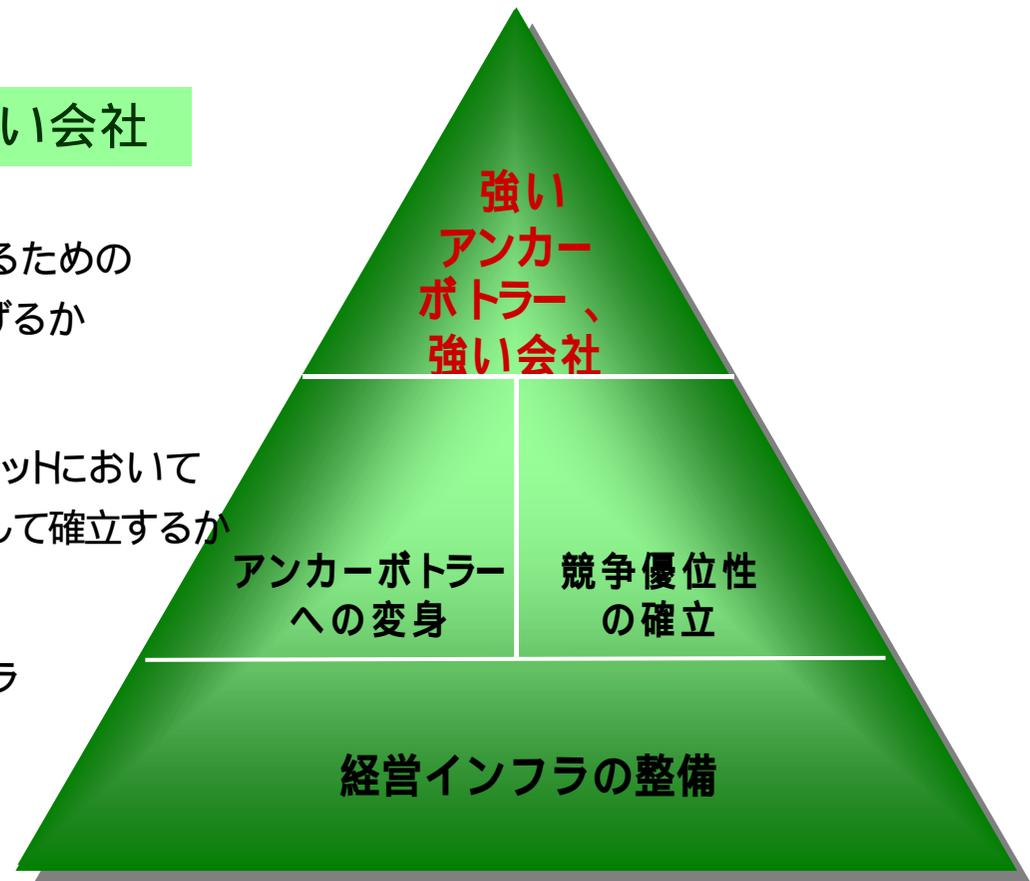
4. 上半期の主要活動

(1) 経営基本方針

(中期経営計画)

強いアンカーボトラー、強い会社

- ★ 日本で最初の、そして今後も拡大するためのアンカーボトラーをいかにして作り上げるか『アンカーボトラーへの変身』
- ★ コカ・コーラボトラーとして飲料マーケットにおいて絶大かつ圧倒的に強い地位をいかにして確立するか『競争優位性の確立』
- ★ 上記を達成するための経営のインフラをいかにして築き上げるか『経営インフラの整備』



(2)アンカーボトラーへの変身

三笠社の子会社化

- ・51.29%の株式取得・・・西武百貨店（相対）TOB
- ・連結への影響は下半期より

近畿社との協働プロジェクト推進

- ・マーケティング、調達、生産、物流、情報システム、教育
- コカ・コーラボレージサービスにおける他ボトラーとの協働
- ・ボトラー参画によるスケールメリットの拡大（11ボトラー参画）
 - 共同調達アイテムの拡大
 - コスト削減・・・前年対比 3.4億円の減少

情報システムの共同開発

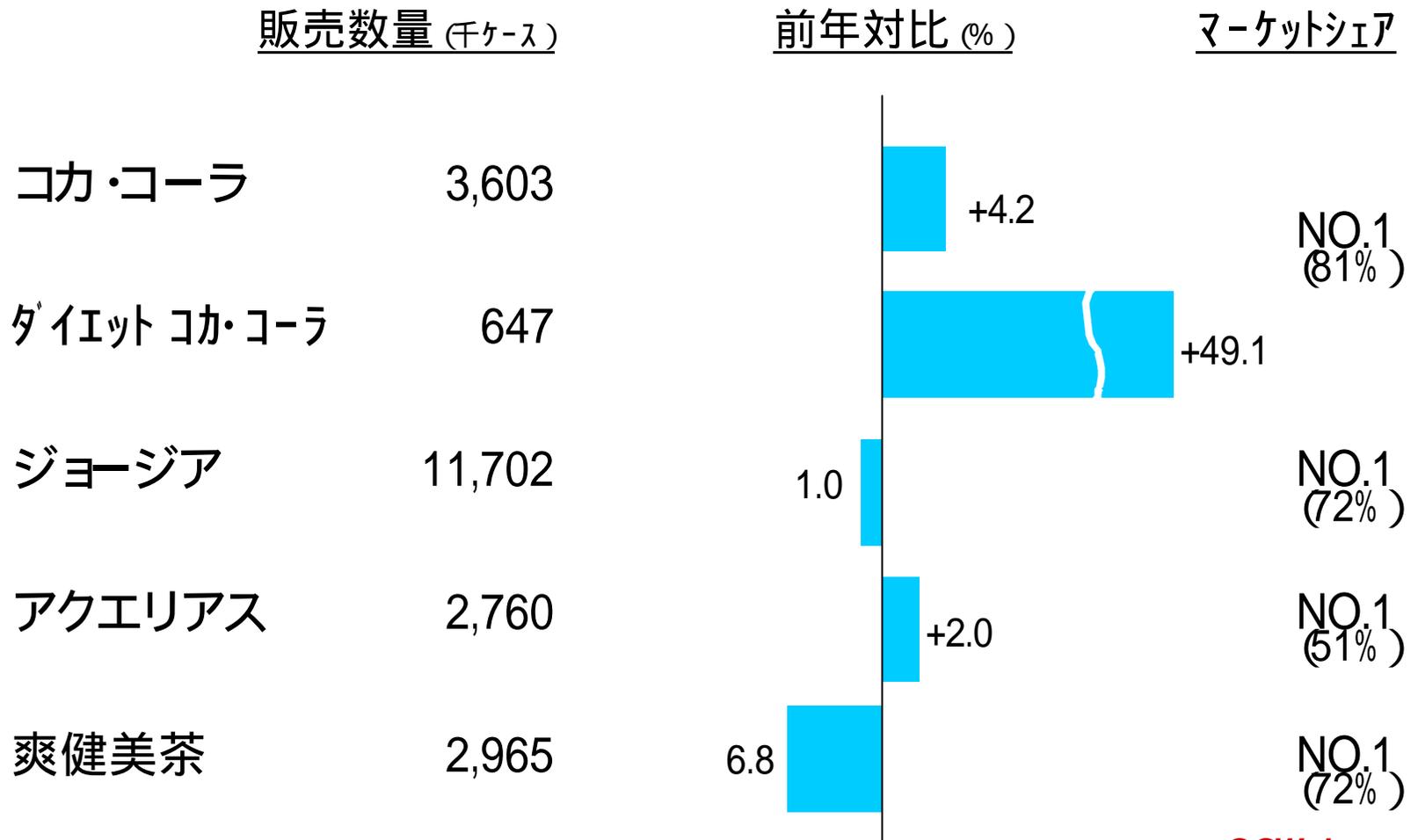
- SAP導入ボトラーの拡大・・・4ボトラーが2002年導入に向けて準備中

(3) 競争優位性の確立

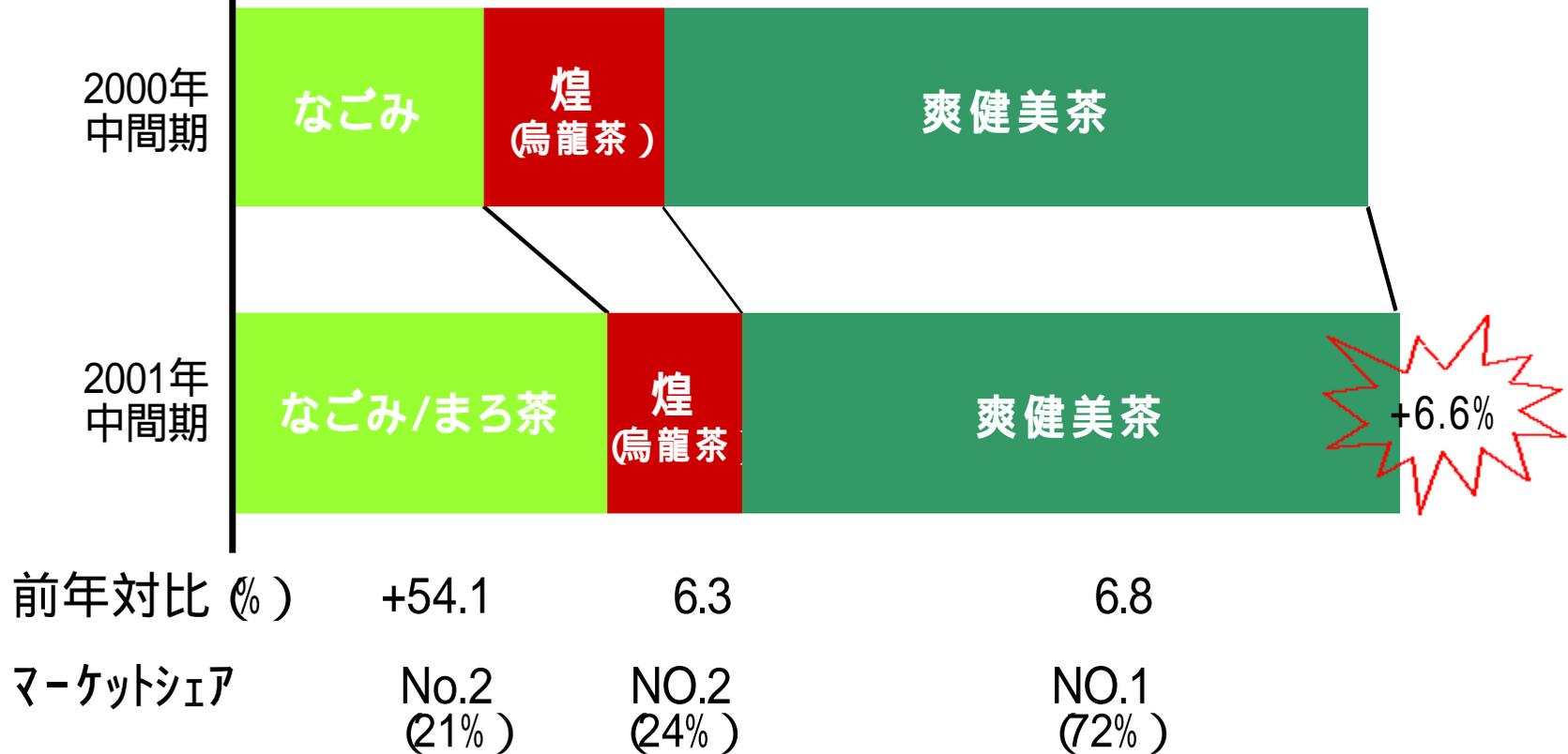
選択と集中によるマーケティング戦略

1) 商品戦略

・基幹ブランドの強化



・日本茶の強化



新しい需要の創造

ナチュア 340千ケース (4~6月)



ウォーターサラダ 140千ケース (5~6月)



2)チャネル戦略

自動販売機の活性化

・280ml缶を全テリトリーへ拡大 (3月)



前年対比 (%)

+576.4

49.1

ケース当り売上総利益

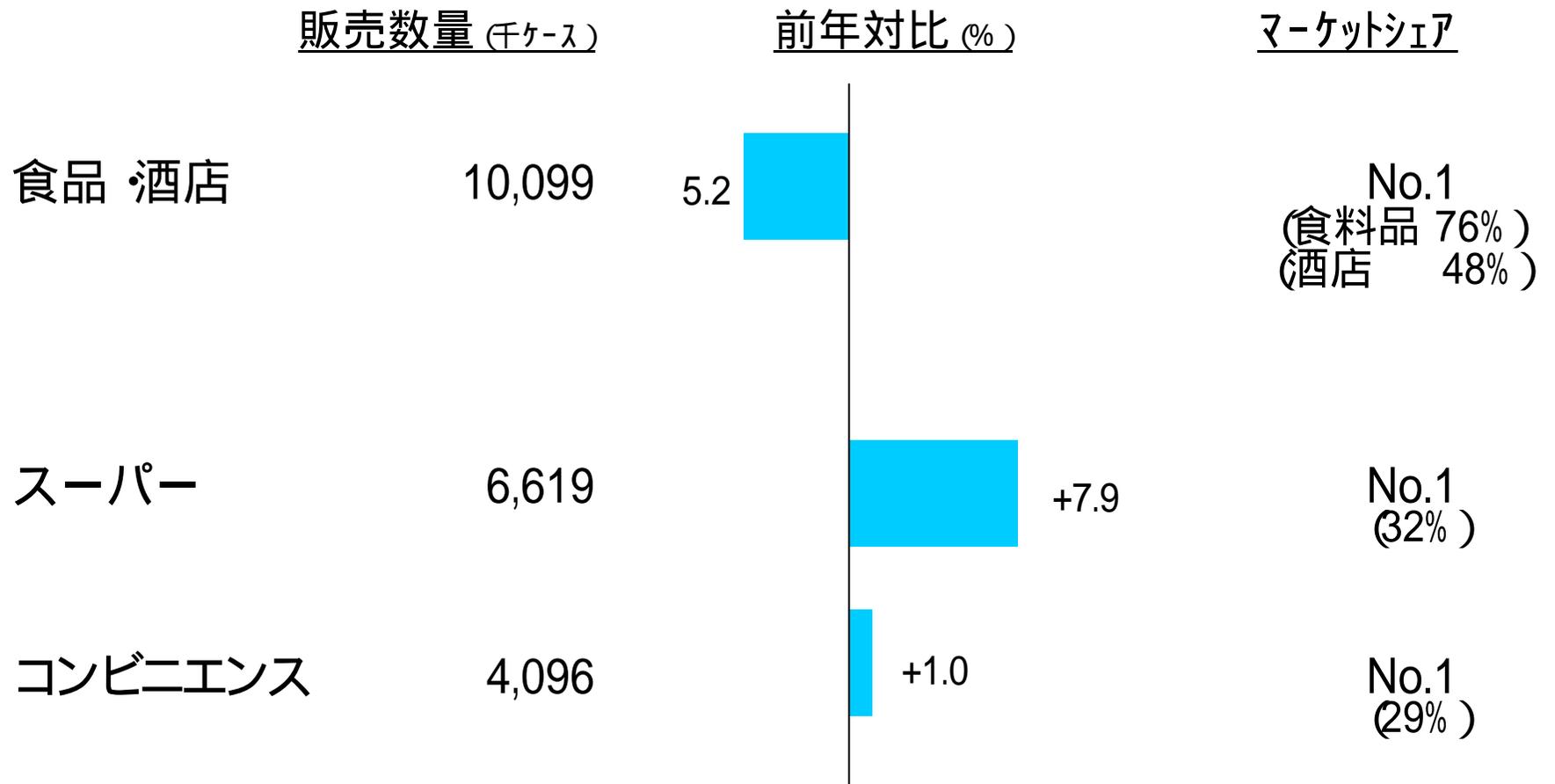
350ml缶を「100」とした時280ml缶は「91」

・自動販売機のパーマシンスールス 前年対比

(単位%)

2000年 年間	2001年	
	1~3月	4~7月
4.4	6.6	+0.4

食品・酒店、スーパー、コンビニエンスの状況



(参考) 月別マーケットシェアと対前年増減

(単位 %、ポイント)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
山陽エリア	シェア	28.3	26.8	28.4	28.0	27.6	26.0	26.4
	対前年増減	1.8	2.5	+0.3	+0.8	+0.7	+1.2	+1.4
北九州エリア	シェア	40.9	40.2	41.6	41.0	42.0	41.5	40.4
	対前年増減	3.1	4.1	1.1	1.3	+0.7	+3.0	+3.0
CCW J	シェア	34.3	33.0	34.5	34.1	34.2	33.0	32.4
	対前年増減	2.4	3.3	0.1	0.0	+0.8	+2.0	+2.0

サントリー	シェア	12.3	12.1	12.3	12.4	10.9	10.2
キリン	シェア	7.0	6.5	6.5	7.2	6.8	7.0
アサヒ	シェア	5.0	4.8	5.3	5.7	5.5	5.6
大塚	シェア	5.7	5.8	5.3	5.2	5.3	5.0
伊藤園	シェア	3.8	4.3	4.1	3.4	3.7	3.6

(出典：ニールセン ストアオーディット)

グループベンディング事業

・機器コールセンターの開設 (5月)

- 機器サービス業務の統合
- 今年度、全エリアの自動販売機を対象に拡大

・FV西日本取得 (5月)

- ウェスト事業部

- … 自販機台 数15,000台
- … 販売数量 約3,000千ケース (通年ベース)

西日本ボトラーとの共同生産体制

・当社、近畿社、四国社との3社によるボトル缶ラインを

四国社 (小松工場) に設置

- … 投資額1.8億円

(4) 経営インフラの整備

バリューベースマネジメント (VBM) の推進
・アクティビティベースコストイング (ABC) 活用

SAPの稼働開始 (1月)

導入効果

- 2つのシステム (旧山陽、旧北九州) の統合化
- 管理会計機能の強化
- 販売、生産、在庫情報のリアルタイム把握
- 米国会計基準対応

・コカ・コーラ標準システムとして他ボトラーへ展開

5. 通期予想



(1) 連結通期予想

(単位 百万円、%)

	2000年 実績	2001年					
		計 画	修正予想	計画対比		前年対比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	207,827	214,000	229,000	15,000	7.0	21,173	10.2
営業利益	17,449	18,000	18,500	500	2.8	1,051	6.0
経常利益	18,516	18,500	19,000	500	2.7	484	2.6
当期純利益	5,700	3,200	4,600	1,400	43.8	1,100	19.3

(2) 単体通期予想

(単位 百万円、%)

	2000年 実績	2001年					
		計 画	修正予想	計画対比		前年対比	
				増減	増減率	増減	増減率
売上高	150,356	153,000	153,000	-	-	2,644	1.8
営業利益	16,481	16,500	16,500	-	-	19	0.1
経常利益	17,781	17,000	17,000	-	-	781	4.4
当期純利益	5,493	2,900	4,300	1,400	48.3	1,193	21.7

< 販売実績 >

(単位 千ケース)

含む他ボトラー	89,498	93,240	94,200	960	1.0	4,702	5.3
エリア内	85,639	87,500	87,950	450	0.5	2,311	2.7

CCWJ

(3) 参考値 3社連結

・・・CCWJ単体 + 山陽CCSC + 北九州CCSC

(単位 百万円、%)

	2000年実績		2001年見込			
	実績	構成比	実績	構成比	増減	増減率
売上高	182,977	100.0	193,000	100.0	10,023	5.5
売上原価	95,405	52.1	102,300	53.0	6,895	7.2
売上総利益	87,572	47.9	90,700	47.0	3,128	3.6
販売費及び一般管理費	71,069	38.8	74,000	38.3	2,931	4.1
営業利益	16,503	9.0	16,700	8.7	197	1.2
営業外収支	1,304	0.7	500	0.3	804	61.7
経常利益	17,807	9.7	17,200	8.9	607	3.4

(5) 下半期の活動

『上半期の活動を継続強化する』

直近の販売状況 (対前年比)

	CCWJ	三笠CCBC
7月	+ 4.4	+ 8.7
8月20日現在	+ 13.4	+ 8.2

小型PETライン (無菌) の設置に向けた準備

- ・2002年6月稼動開始予定
- ・設備投資額 約47億円
- ・基山工場 (本郷工場)
- ・西日本エリアにおける商品供給を予定

立体自動倉庫建設

- ・2002年2月稼動開始予定
- ・設備投資額 約12億円
- ・本郷工場
- ・在庫管理の一元化および在庫管理業務のシステム化

自販機オペレーションの効率化

・山陽エリアに北九州コカ・コーラベンディング (KCCV) 方式の展開
 近畿社との協働プロジェクト

投資、コスト削減についてはほぼ目標達成見込

< 投資抑制・・・年間 (両社合計) >

(単位 百万円)

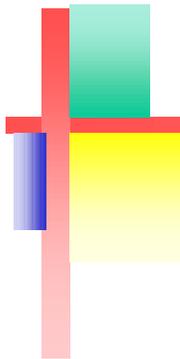
ローコスト自動販売機の共同購入	70
情報システムの共同開発、共同利用	40
計	110

< コスト削減・・・年間 (両社合計) >

(単位 百万円)

共同購買	193
ボトル缶ラインの共同投資	28
在庫情報の共有化 (廃棄商品の削減)	190
自動販売機在庫の共同活用	20
販売機器部品の一括購入 / 自動販売機物流の効率化	20
その他	33
計	484

・両社間の担当者レベルの交流、相互研修も活発化
 - 教育プログラムの共有化・・・海外留学



三笠社の経営改善と強化

・経営機構の改革

- 取締役会改革と執行役員制導入
- 新しい役員体制

・3社 (CCWJ、三笠社、近畿社)による協働をさらに拡大

資料集

1. 損益の推移



(1) 連結 (中間期)

(単位 百万円、%)

	2000年中間期(参考値)		2001年中間期	
	実績	構成比	実績	構成比
売上高	98,857	100.0	99,047	100.0
売上原価	52,779	53.4	53,019	53.5
売上総利益	46,077	46.6	46,028	46.5
販売費及び一般管理費	38,694	39.1	38,553	38.9
営業利益	7,377	7.5	7,475	7.5
営業外収益	943	1.0	705	0.7
営業外費用	371	0.4	766	0.8
経常利益	7,948	8.0	7,413	7.5
特別利益	22	0.0	9,980	10.1
特別損失	855	0.9	16,849	17.0
税金等調整前中間純利益	7,115	7.2	544	0.5
法人税等	3,047	3.1	443	0.4
少数株主利益	17	0.0	4	0.0
中間純利益	4,051	4.1	96	0.1

参考値…公認会計士による会計監査を受けていない数値

(2) 連結 (通期)

(単位 百万円、%)

	1999年期末		2000年期末		2001年期末	
	実績	構成比	実績	構成比	予想	構成比
売上高	164,731	100.0	207,827	100.0	229,000	100.0
売上原価	89,050	54.1	110,876	53.4	123,000	53.7
売上総利益	75,681	45.9	96,951	46.6	106,000	46.3
販売費及び一般管理費	60,520	36.7	79,501	38.3	87,500	38.2
営業利益	15,160	9.2	17,449	8.4	18,500	8.1
営業外収益	1,690	1.0	2,140	1.0	1,300	0.6
営業外費用	961	0.6	1,074	0.5	800	0.3
経常利益	15,889	9.6	18,516	8.9	19,000	8.3
特別利益	-	-	1,093	0.5	10,000	4.4
特別損失	2,351	1.4	9,312	4.5	19,800	8.6
税金等調整前当期純利益	13,537	8.2	10,297	5.0	9,200	4.0
法人税等	6,706	4.1	4,592	2.2	4,200	1.8
少数株主利益	9	0.0	3	0.0	400	0.2
当期純利益	6,823	4.1	5,700	2.7	4,600	2.0

1999年1～6月の旧山陽CCBC分は含まず

2. 販売数量の推移



(1) ブランド別販売数量

(単位 千ケース、%)

		山陽エリア			北九州エリア			合計		
		2000年 中間期	2001年 中間期	'01/ '00	2000年 中間期	2001年 中間期	'01/ '00	2000年 中間期	2001年 中間期	'01/ '00
炭 酸	コカ・コーラ	1,402	1,440	2.7	2,054	2,163	5.3	3,456	3,603	4.3
	ダイエットコカ・コーラ	215	328	52.6	218	318	45.9	433	647	49.4
	ファンタ	841	834	0.8	1,021	1,057	3.5	1,863	1,891	1.5
	スプライト	188	208	10.6	257	303	17.9	445	511	14.8
	リアルゴールド	277	242	12.6	373	316	15.3	651	558	14.3
	カナダドライ	62	65	4.8	94	100	6.4	156	165	5.8
	その他	222	10	95.5	277	9	96.8	500	20	96.0
	計	3,210	3,127	2.6	4,297	4,266	0.7	7,505	7,393	1.5
非 炭 酸	ジョージア	5,015	4,805	4.2	7,009	6,897	1.6	12,026	11,702	2.7
	エンブレム	350	424	21.1	569	688	20.9	919	1,112	21.0
	アクエリアス	1,283	1,290	0.5	1,423	1,470	3.3	2,706	2,760	2.0
	爽健美茶	1,437	1,409	1.9	1,745	1,556	10.8	3,182	2,965	6.8
	煌	293	260	11.3	551	530	3.8	844	791	6.3
	お茶(なごみ/まる茶)	322	570	77.0	803	1,166	45.2	1,126	1,735	54.1
	紅茶花伝	793	675	14.9	815	669	17.9	1,609	1,344	16.5
	ベジータベータ	32	15	53.1	44	27	38.6	77	42	45.5
	乳性(ラクトイ/ナチュア)	106	131	23.6	129	209	62.0	236	340	44.1
	Qoo、HI-C他	593	754	27.2	683	894	30.9	1,276	1,648	29.2
	森の水だより	135	228	68.9	440	554	25.9	575	782	36.0
その他	124	209	68.5	227	244	7.5	352	455	29.3	
	計	10,490	10,771	2.7	14,441	14,904	3.2	24,931	25,676	3.0
	その他 / 食品	3,568	3,617	1.4	3,737	3,847	2.9	7,305	7,463	2.2
	合計	17,268	17,515	1.4	22,477	23,017	2.4	39,744	40,532	2.0

他ボトルー販売を除く

(2)パッケージ別販売数量

(単位 千ケース、%)

		山陽エリア			北九州エリア			合計		
		2000年 中間期	2001年 中間期	'01/ '00	2000年 中間期	2001年 中間期	'01/ '00	2000年 中間期	2001年 中間期	'01/ '00
ボ ト ル	リターナブル	139	126	9.4	181	173	4.4	320	299	6.6
	ワンウェイ	305	414	35.7	451	611	35.5	756	1,025	35.6
	計	445	540	21.3	632	784	24.1	1,078	1,324	22.8
P E T	～ 500 ml	1,966	2,264	15.2	2,409	2,747	14.0	4,374	5,011	14.6
	～ 1,000 ml	42	65	54.8	56	89	58.9	98	154	57.1
	～ 1,500 ml	932	912	2.1	1,128	1,044	7.4	2,061	1,956	5.1
	～ 2,000 ml	1,055	1,312	24.4	1,819	2,007	10.3	2,875	3,319	15.4
	計	3,996	4,553	13.9	5,412	5,886	8.8	9,409	10,439	10.9
缶	～ 200 ml	4,631	4,581	1.1	6,813	6,853	0.6	11,444	11,433	0.1
	～ 250 ml	935	832	11.0	1,172	1,144	2.4	2,108	1,977	6.2
	～ 280 ml	824	1,331	61.5	1,275	1,818	42.6	2,099	3,149	50.0
	～ 350 ml	2,498	1,705	31.7	3,077	2,180	29.2	5,576	3,885	30.3
	～ 500 ml	259	152	41.3	263	292	11.0	523	444	15.1
	計	9,149	8,601	6.0	12,602	12,287	2.5	21,752	20,888	4.0
ボトル缶		-	16	-	-	26	-	-	43	-
その他/食品		3,678	3,805	3.5	3,828	4,034	5.4	7,506	7,839	4.4
合計		17,268	17,515	1.4	22,477	23,017	2.4	39,744	40,532	2.0

他ボトラー販売を除く

(3)チャネル別販売数量

(単位 千ケース、%)

	山陽エリア			北九州エリア			合 計		
	2000年 中間期	2001年 中間期	'01/ '00	2000年 中間期	2001年 中間期	'01/ '00	2000年 中間期	2001年 中間期	'01/ '00
食品・酒店	4,754	4,430	6.8	5,903	5,670	3.9	10,657	10,099	5.2
スーパ－	2,568	2,828	10.1	3,566	3,791	6.3	6,134	6,619	7.9
コンビニエンス	1,815	1,867	2.9	2,240	2,229	0.5	4,056	4,096	1.0
フルサービス	3,263	3,474	6.5	6,200	6,478	4.5	9,463	9,951	5.2
C V M	1,355	1,278	5.7	516	467	9.5	1,871	1,746	6.7
ディスペンサー	1,161	1,266	9.0	1,698	1,711	0.8	2,859	2,977	4.1
そ の 他	2,351	2,372	0.9	2,354	2,672	13.5	4,685	5,044	7.7
合 計	17,268	17,515	1.4	22,477	23,017	2.4	39,744	40,532	2.0

他ボトラー販売を除く

(4)新製・商品の販売状況

販売状況

(単位 千ケース)

	2000年 中間期	2001年 中間期
品目数	44	48
販売数量	4,469	5,855

2001年 主な新製・商品

(単位 千ケース)

	製・商品名	発売月	販売数量
1	ジョージア ザ・コロンビア 190g缶	3月	857
2	アクエリアス 2000mlPET	2月	684
3	アクエリアス 500mlPET	3月	439
4	まる茶 340g缶	2月	434
5	まる茶 500mlPET	3月	434
6	ナチュア 170mlOWB	3月	340
7	まる茶 2000mlPET	3月	255
8	ファンタ ファンキーレモンC 280ml缶	3月	249
9	アクエリアス 350g缶	2月	237
10	クー ピーチ 1500mlPET	2月	190

3. 自動販売機の設置状況



(1) 設置台数

(単位 台)

		山陽エリア		北九州エリア		計	
		2000年 中間期	2001年 中間期	2000年 中間期	2001年 中間期	2000年 中間期	2001年 中間期
資産 機	レギュラー(缶)	27,671	26,658	22,959	22,873	50,630	49,531
	フルサービス(缶)	22,018	25,862	42,081	44,096	64,099	69,958
	カップマシン	5,995	6,054	2,276	2,187	8,271	8,241
	小計	55,684	58,574	67,316	69,156	123,000	127,730
売却機(缶)		6,327	4,725	8,495	6,317	14,822	11,042
合計		62,011	63,299	75,811	75,473	137,822	138,772

(2) プレダトリー

(単位 台)

		山陽エリア		北九州エリア		計	
		2000年 中間期	2001年 中間期	2000年 中間期	2001年 中間期	2000年 中間期	2001年 中間期
プレダトリー		1,715	700	1,395	2,133	3,110	2,833

(3) シェア

(単位 %)

		山陽エリア		北九州エリア		計	
		2000年	2001年	2000年	2001年	2000年	2001年
シェア		44.7	46.3	57.5	59.3	50.6	52.3

(出典：ニールセン オープンマーケット自販機サーベイ)

(調査時期：毎年6月)

4. マーケットの状況 (マーケットシェア)



(1) メーカー別シェア

(単位 %)

	山陽エリア		北九州エリア		計	
	2000年 中間期	2001年 中間期	2000年 中間期	2001年 中間期	2000年 中間期	2001年 中間期
CCWJ	27.5	27.5	41.9	41.3	34.1	33.8
競合計	72.5	72.5	58.1	58.7	65.9	66.2
サントリー/ペプシ	10.9	12.2	9.5	10.9	10.3	11.6
キリン	7.8	7.4	5.9	6.2	6.9	6.8
アサヒ	6.8	5.8	5.7	4.8	6.3	5.4
サッポロ	0.7	0.8	0.6	0.6	0.7	0.7
大塚	7.0	5.7	5.9	5.0	6.5	5.3
伊藤園	3.2	3.6	3.5	4.0	3.3	3.8
ダイドー	0.9	1.0	0.7	0.7	0.8	0.9
JT	1.7	1.4	1.6	1.3	1.7	1.3
UCC	1.4	1.1	0.7	0.4	1.1	0.8
カルピス	4.2	4.2	3.1	3.0	3.7	3.7
その他	27.9	29.3	20.9	21.8	24.6	25.9

(出典: ニールセン ストアオーディット)

(2)カテゴリー別シェア

(単位 %)

	山陽エリア		北九州エリア		計	
	2000年 中間期	2001年 中間期	2000年 中間期	2001年 中間期	2000年 中間期	2001年 中間期
トータル	27.5	27.5	41.9	41.3	34.1	33.8
炭酸	51.6	49.2	62.7	60.8	57.1	55.0
コーラ炭酸	79.6	76.3	87.6	85.5	83.8	81.1
透明炭酸	21.8	17.4	29.5	27.9	25.5	22.3
フレーバー炭酸	47.3	42.4	60.1	52.8	53.3	47.3
果汁	11.5	14.1	17.3	18.1	13.9	15.8
コーヒー	28.6	27.4	53.9	50.9	40.6	38.7
缶コーヒー	60.2	60.5	82.5	80.9	72.5	71.9
ティー	27.1	27.2	40.6	39.2	33.4	32.9
中国茶	13.3	13.9	28.2	27.7	20.6	20.7
紅茶	16.1	15.2	30.2	28.0	21.6	20.2
日本茶	8.1	15.1	24.8	27.2	16.3	21.2
ブレンド茶	59.3	66.5	70.6	78.5	64.5	72.0
スポーツ	39.5	47.4	48.3	55.3	43.2	50.9
フィットネス	2.8	4.4	6.4	8.6	4.4	6.3
乳類	3.7	1.9	10.5	5.7	6.3	3.3
ミネラルウォーター	14.7	15.3	29.9	39.7	22.2	27.2

(出典：ニールセンストアオーディット)

5. 株主の状況



(1) 株主数・株式数

(単位 人、千株、%)

	2000年12月末				2001年6月末			
	株主数	構成比	株式数	構成比	株主数	構成比	株式数	構成比
金融機関	94	0.9	16,170	22.1	85	0.8	17,478	21.7
国内法人(証券会社)	346	3.4	35,706	48.7	341	3.0	39,113	48.4
外国法人等	108	1.1	11,868	16.2	120	1.1	13,489	16.7
個人その他	9,692	94.6	9,508	13.0	10,807	95.2	10,497	13.0
合計	10,240	100.0	73,252	100.0	11,353	100.0	80,578	100.0

(2) 配当金・配当性向

	1995年	1996年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年 予定
一株当たり 年間配当金 (円)	20.00	25.00	27.00	30.00	32.00	32.00	32.00
(中 間) (円)	10.00	12.50	13.50	15.00	15.00	16.00	16.00
(期 末) (円)	10.00	12.50	13.50	15.00	17.00	16.00	16.00
配当性向 (%)	13.73	17.95	21.93	25.85	26.73	42.67	59.97
みなし 配当性向 (%)	13.73	19.74	24.12	25.85	26.73	46.94	59.97

(3) 株式分割

- 1994年 12月末日の株主に対して1 : 1.3 (1995年 2月 15日付)
- 1996年 12月末日の株主に対して1 : 1.1 (1997年 2月 20日付)
- 1997年 12月末日の株主に対して1 : 1.1 (1998年 2月 20日付)
- 2000年 12月末日の株主に対して1 : 1.1 (2001年 2月 20日付)

6. 設備投資、減価償却、キャッシュフロー



(1) 設備投資、減価償却 (連結)

(単位 百万円)

		2001年 中間期	2001年 通期見込
設 備 投 資 額	土地	-	1,750
	建物・構築物	514	1,565
	機械及び装置	1,915	3,122
	販売機器	2,953	4,512
	その他	1,320	2,125
	計	6,712	13,074
減価償却費		6,299	14,384

(2) キャッシュフロー (連結)

(単位 百万円)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金および現金同等物 期末残高
2001年中間期	11,581	13,342	1,448	27,863